



タマネギ「スパート」

滋賀県米原市
つみ ひでゆき
堤 秀幸さん

5年前の定年退職を機に、それまでの自家用程度の栽培から、規模を広げて出荷もするようになりました。現在は主にタマネギ、カボチャなど4品目を、学校給食と直売所向けに作付けしています。タマネギは給食の指定品種である関係で、中晩生の「ネオアース」のみ作っていましたが、収穫期の6月は直売所にあふれて売るのも一苦労。一度早めに抜いて持っていったら、小さい玉でもよく売れたので、次は早生の品種を使ってちゃんとした玉を多く出したいと思いました。

一昨年の9月20日に苗床へ播種し、11月16日にマルチをして定植。1月と2月に追肥を行いました。米原はもともと雪が多いのですが、試作時は特によく降り、ものすごく寒い日が続きました。生育は進まず、一時は「もうだめだ」と思ったほどです。それでも病気はなく、春が近づくと徐々に葉も伸び、隣の「ネオアース」と比べても早く育って早生を実感。昨年の5月10日ごろには倒伏が始まり、18日に収穫作業を行いました。

正直なところ、あまりの寒さに結果はあきらめていたのですが、いざ抜いてみたら丸くて大きな玉がゴロゴロ出てきます。ほとんどが8cm以上にそろって、10cm近くのものも少なくあり

ません。売り物にならない小さな玉はわずか。不安が大きかっただけに、この成果にはびっくりしてしまいました。直売所に持っていったら、ほかは早どりした小さな玉が少し出ているだけ。ほぼわが家の独占状態です。立派な玉は1個売り、残りは大小取り混ぜて袋詰めに。見ばえのする新タマネギは人気が高く、試作タネ1袋分は1カ月足らずで完売となりました。

また、播種時に「ネオアース」のタネが足りず、急遽晩生の「ケルたま」を買い足したところ、こちら予想以上の成果がありました。8月から出荷して大半は年内に売り切り、小さな玉だけ自家用に残しておいたのですが、年が明けても悪くなる気配はなし。結局それも出荷に回し、最後の2月まで、腐ったりかびが生えたりすることも、芽が出ることもなく、小玉でもすべて売り切ることができました。

以前は傷んで売り物にならなくなるのを恐れ、早く出してしまおうと、タマネギの多い時期でも安値をつけて無理に販売していました。でも、時期をずらせる品種を使えば、そんな心配はしなくても大丈夫。特に早い時期の新タマネギは喜ばれ、「スパート」を試作して本当によかったと思いました。

昨年秋の播種では「スパート」と「ケルたま」を増やしました。あとわずかで収穫できそうで、早くから遅くまで、これからはもっと多くのタマネギが出せると期待しています。



↑定植前に溶成リン肥、有機石灰、堆肥を施し、リン硝安カ力で追肥。5月10日ごろから倒伏してきた。



←抜いてみれば大きな玉がゴロゴロ。うれしい収穫となった。



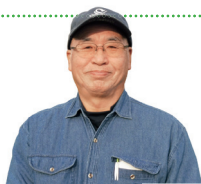
←ほとんどが8cm以上にそろい、甲高で見ばえがする。食べてもフレッシュでおいしい。

→予定外の栽培となった「ケルたま」。日陰に吊して貯蔵すれば、年が明けても出荷できた。



ハウレンソウ「冬ごのみ」

神奈川県中井町
こたま ただお
小玉 忠男さん



私は若いころから趣味で野菜を作っていましたが、増やしすぎたトマトのやり場に困ったのがきっかけで、5年ほど前に畑の前へ直売所をつくり販売を始めました。以来、口コミで評判が広がり、多くの方に来てもらっています。ほかにも多種類の野菜を栽培していますが、ハウレンソウだけは何度も失敗しており、長い間作っていませんでした。しかし、苦手意識を払拭したく、今回は思い切って挑戦してみました。

山の中の畑で秋冬は日の当たる時間が短いため、適期より少し早めの9月15日に播種しました。3日で芽が出始め、発芽率は上々。乾燥しやすい土なので水やりに注意し、ある程度育ったら込み合った箇所を間引きました。9月末ごろに直売所が飛ばされるほどの台風に襲われましたが、作物に影響はなし。以前の失敗がうそのような作りやすさで、タネの優秀さを実感しました。約2カ月で収穫できる大きさに、葉がすんなり伸びて美しく、抜いてみたら根もしっかり育っています。食べると甘

くて味が濃い。家族にも好評です。試作だったのでほとんど販売はせず、畑へ来られたお客さんに差し上げて食べてもらいましたが、皆さんに「おいしい」と言われ、少しはハウレンソウ栽培に自信をもつことができました。

私はとにかくよいものが作りたい。同じ品種でも、誰よりもおいしいものが作りたいんです。そのために肥料の施し方など工夫を惜しまず、子どもを育てるようなきめ細かな栽培を心掛けています。「また来たよ」と立ち寄ってくれるお客さんのためにも、納得いく品物を売り続けたいと思っています。



↑すんなりした葉とまっすぐ伸びた白い根に「期待以上のでき」と小玉さん。



↑年に一度堆肥を投入し、播種の1週間前に有機石灰、鶏ふん、少量の化成肥料を施用。多肥にならないよう心掛ける。